



寒風突いて 出初め式

年始め恒例の村消防出初め式が1月8日、役場駐車場を主会場に行われました。消防団員107人、婦人消防協力隊員37人など関係者ら約180人が参加。昨年末と今年始めに起こった住宅火災を教訓に、火災のない一年を新たに決意しました。

統監の深渡宏村長は「非常事態に、それぞれが協力し、防災に努めてほしい」と訓示。寒風吹きすさぶ中、人員、服装点検(写真)などのあと、団員、婦人消防協力隊員、久慈消防署普代分署員らと消防車両14台が村の中心街を分列行進し、村民に火災予防を訴えました。



鵜鳥神楽 巡業始まる

サタデースクール閉校

小学校2・3年を対象に隔週土曜日に開かれた「サタデースクール」(村教委主催)の閉校式が12月10日、ふれあい交流センターで行われました。

閉講式は、午前9時30分から約1時間、通常の授業をしたあと行われ、全13回出席した太田由香さん(普小2年)、菅野みちるさん(同)、野場彩乃さん(同)の3人に、沼田英雄教育長が「よく頑張りましたね」と皆勤賞を手渡しました。(写真)同講座は算数や国語の基礎学力の定着と習慣づけが狙いで、昨年6月11日から開催され10人が受講しました。来年度は新たに英語も加える予定です。

村の鳥居地区にある鵜鳥神社に伝わる鵜鳥神楽は1月2日、同神社の遙拝殿で舞い立ちの儀式(写真)を行い巡業を始めました。

南回りの今年、村から釜石方面まで神楽衆が足を延ばし、公民館や旧家で家内安全、無病息災などを祈る多彩な演目を舞い、沿岸地区に新春を呼びます。

鵜鳥神楽のこの巡業は「霞掛け」と呼ばれ、宮古市の黒森神楽と年交替で北回り(久慈方面まで)、南回りと巡業する全国でも珍しい神楽です。

